

## ◎東大と認知症予防研究の協定締結＝山梨県

24/10/25 18:06 NH035

山梨県は25日、東京大学高齢社会総合研究機構（東京都文京区）と、認知症予防の研究や地域発展に関する連携協定を締結した。県内の認知症患者数の減少につなげる。

協定では上野原市を実証地に、認知症や生活習慣病予防を目的とした実験、セミナーの開催などで連携する。実験では、40代以上の住民などの健診データを人工知能（AI）で分析。将来的に認知症になる可能性を提示するほか、予防のためのフィードバックなどを行う予定。協定の有効期限は2025年3月まで。

県によると、24年4月時点で県内の高齢者のうち、約2万8000人（11.2%）が認知症であるという。

長崎幸太郎知事は「認知症予防はもとより、地域社会の発展など幅広い分野での連携を期待する」と話した。（了）



協定を締結する山梨県の長田公副知事（右）ら＝25日午後、東京都千代田区

### 関連情報

人物 長崎幸太郎氏のプロフィール

※本印刷物は時事通信社 iJAMPサービスから印刷されました。